

★ 操 作 方 法 ★

マンガのページの上でクリックすると次のページを表示します。右クリックすると前のページに戻ります。

※ Macintosh で、マウスに右クリックの設定をしていない方は、キーボードの「control」キーを押しながらマウスをクリックすると前のページに戻ります。

※ iPad では、上下スクロールでご覧いただけます。

★ 光る眼の少女

最終回



かたおか徹治





正直言っておどろいたよ

もし彼女が超能力を使ったらいま頃キミは……

ふ……



そうなれば自分が魔女だって宣伝するようなものよ

覚悟はできていつでも受けて立ってやるわ

アンタには一度階段からおとされておるんださら少々の事じゃ驚かないわよ

ちがうっ!!!



だから超能力者だって言ってるんだ!!

ちがうっ!!
ワタシは普通の人間よっ!!



ワタシがやったんじゃない!!

第一ワタシはアナタとはずい分離れたところにいるのよっ!不可能よっ!!!



あの事件のあと
気になったので
お母さんに
会ってきた
.....

原因までは
聞かなかったが
番長はその頃
軽いノイローゼに
かかってたらしい

黄泉くんは
ふられたのが
きっかけて
その日から極度の
ノイローゼに
おちいり
そのために
ずっと休校
しているんだ
彼女の
せいじゃない!!

この女の
正体を
あばいて
この学校から
追い出して
やるっ!!

そんなことは
どうだって
いい!!

うぐ
.....

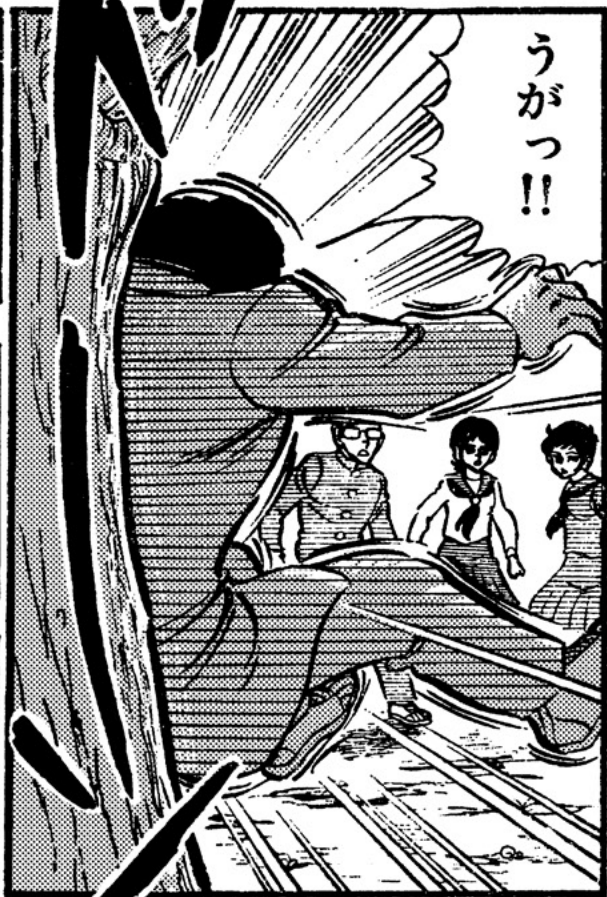
さっ!!
正体を
現すのよ
っ!!

イヤッ!!
やめてっ!!

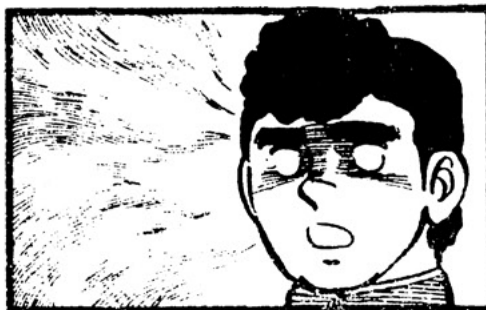
よさないか
っ!!

よけいな
手出しは
しないでっ!!

うっ!!



※ポルターガイスト…思春期の少女に多く、子供の頃から親や友人からの愛にめぐまれていないものに多い。
潜在意識の中から出て来くるエネルギー、家を振動させてたり、ものを破壊したりする。



あんまり
だわっ!!

なんの
権利があつて
そんな事を
するのっ!!!

超能力者
なんて
信じない
わよっ!!!

世迷い言を
言うなっ!!!

せつかく
仲良く
なれたんだっ!



いいか
げんに
しろっ!!

おまえ
たちは
黄泉くんが
魔女だと
扇動したっ
!!

しかし
この数か月
何も起こら
なかったので
不安と
いらだちが
芽ばえだして
たんだ!!



おれは
この女が
ポルター
ガイストと
テレパシー
ノックアウトを
起こすところを
見たぞっ!!

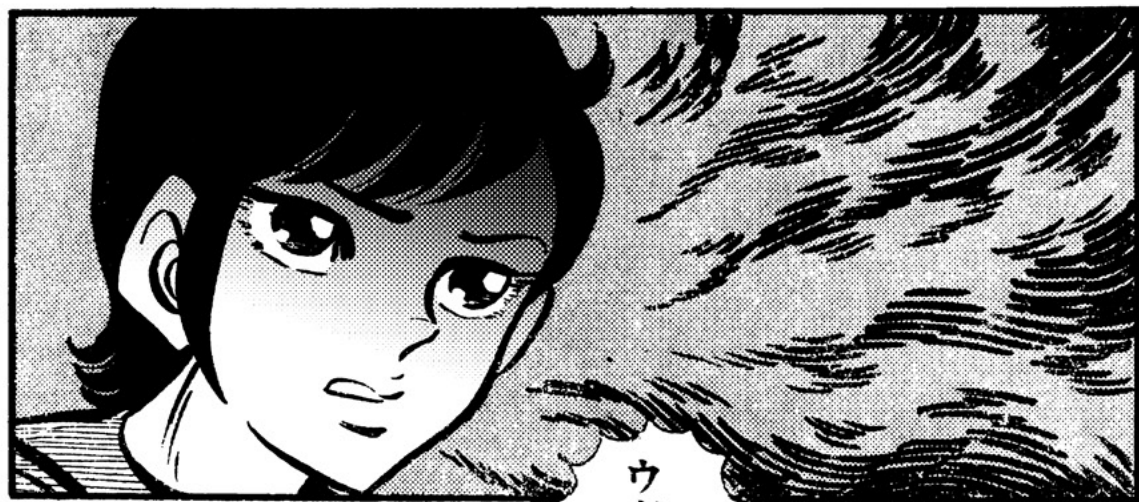
オカルト狂の
オマエにしては
随分矛盾した
事をいうな

ポルターガイストと
テレパシーノック
アウトは相対する
ものでテレパシー
ノックアウトは
彼女が起こした
ものじゃない!!

確かに
ポルターガイストは
起きた!!
しかし、愛情に恵まれた今
再び起こりはしないっ!!



※テレパシーノックアウト…テレパシーによって相手の心を操縦して動けなくしたり、気絶させたりすること。念力が同時に働くと相手を肉体的に傷つけることもできる。





もう
茶番劇は
やめろっ!!

これ以上
黄泉くんを
責めるなっ!!

そうだ
そうだっ!!

これ以上やったら
オレたちが
黙っちゃ
いないぞっ!!



浅子っ
!!
まるで
おまえの方が
魔女みたいだぜ!!



!! うわーっ



あ、浅子……

!! グエーッ

!! グワーツ



やめろっ!!
やめろっ!!
浅子っ!!







これで
黄泉くんが
普通の女の子だと
ハッキリ分かった
ろう!!

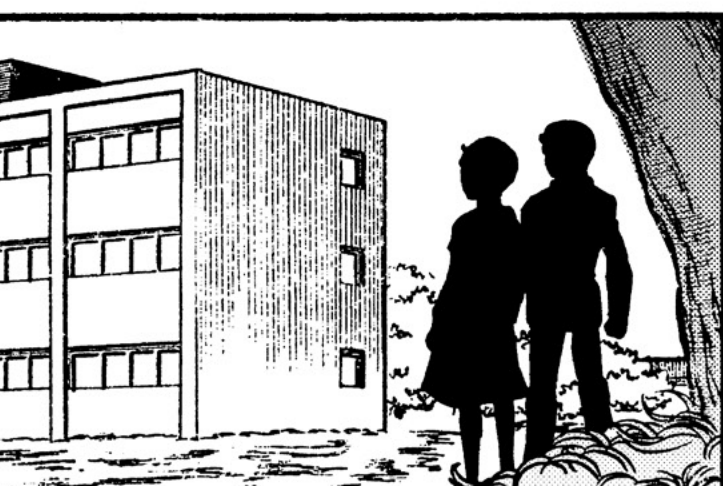
超能力者なら
まずキミたち二人に
何かが起こった
はずだっ!!



さ
くら



負け…
ワタシの
負け
なのね…



勝ち負け
なんかじゃ
ない…

翌朝
……

沖田先生から
黄泉くんが
昨日付けで
転校していった
ことを聞かされた
……

ボクは
もちろんのこと
クラスの
みんなが残念
がった……

そして
もう一つ……
浅子も
休学届けを
出したという
……

放課後
……

ボク宛の
黄泉くんからの
手紙が
沖田先生から
手渡された
……

職員室

宙さんへ…

貴方の友情が
なければ
私はいつまでたっても
昔のままだったで
しょう。

噂が噂を
読んだ出来事も
理由が分かり
安心しました。

普通の
女の子だって事が
これ程素晴らしい
事だったんだって
思っても
みませんでした
……。



これもすべて
貴方の
おかげです。

でも……
浅子さんの
事件が
あった以上
この学校にいる
訳にはいきません
……。

イヤ……
キミは
ただの女の子
なんかじゃ
ない……

さようなら……
初恋……さん……



今日から
新たな
出発を
します。

もう
今までの
ような事は
ないでしょう。
本当にありがとう
……
瞳



光る眼の少女

完

『光る眼の少女』始末記 かたおか徹治

⑤



本作は36年前、私が20代半ばの作品です。

何故そんな昔の作品を「ネット配信版・新つれづれ草」にアップするのか…のお声があると思います。

それは『2011年3.11東日本大震災』がきっかけでした。

その数週間前から、住み慣れた家を出る事となり、転居する準備をしていたところ、それだけでなくとも散乱している部屋がこの震災で益々グチャグチャになってしまいました。

その頃の私は、病気で2度目の退院をしたばかりで、体力が低下していました。それに加えて、とにかく引っ越しの予定日までの時間が限られていて、荷物整理の作業は遅々として進まないまま、予定の日が来てしまいました。

結果、細かい事を確認をしないままの引越しとなってしまいました。

引っ越しが済んだ後、幾つかの原稿を入れたダンボール箱を忘れて来た事に気づきましたが、時すでに遅しで、ゴミとして処理された後でした。

私が精魂込めて描いてきた作品枚数の、半数以上がコミカライズや原作付きや伝記物などの企画物です。それ故、読み切りを含む少数派のオリジナル作品たちは、雑誌に一度だけ掲載されるだけで、単行本になることはほとんど無く、その場限りで再び陽の目を見る事はありませんでした。

震災があり、それらの作品をただ持っていて、私が鬼籍に入れば家族にとってはただのゴミ…^_^;

そんな事を考えるようになり、いま持っている『ガラ刷り』や『刷出し』だけの作品でも、この「ネット配信版・新つれづれ草」で何とか日の目を見せたいと思ったのです。